教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 ガイダンス 自己と他者 【知識及び技能】 科目の目的の理解 スピーチをする 【思考力、判断力、表現力等】 他者に伝える方法を考えて発表する 【学びに向かう力、人間性等】 他者のスピーチを聞いて、自己の表現力の向上に役立てる方法を深める	・指導事項 現代の国語の学習の目的 スピーチから傾聴する方法 ・教材 分かりやすい説明をする 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	●現代の国語を学ぶ目的を理解できたか。 ●1分間スピーチの内容を考え準備できたか。 ●他者のスピーチを傾聴できたか。 ●他者のスピーチから学ぶことを見つけ、整理できたか。 ●他者のスピーチから思うことや考えることを文章に書くことができたか。	○		○	5
	B 単元 認識を深める 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 水の東西 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめたか。		○	○	10
	定期考査			○	○		
	C 単元 言葉と社会1 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み グラフや図表の読み取り 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める グラフや図表から考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 言葉は世界を切り分ける 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめたか。	○		○	8
	D 単元 言葉と社会2 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 まちの豊かさとは何か 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文や資料を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめたか。			○	7
定期考査			○	○			
2 学 期	E 単元 共に生きる 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 自立と市場、真の自立とは 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめたか。			○	15
	定期考査			○	○		
	F 単元 世界を広げる1 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 資料の読み取り 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める グラフや図表から考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 白 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文や資料を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめたか。	○		○	15
定期考査			○	○			
3 学 期	G 単元 世界を広げる 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 機械は言葉を理解できるか 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめたか。			○	7
	H 単元 実用文を読む 【知識及び技能】 音読 文章の読解 漢字の読み グラフや図表の読み取り 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考えについて考えを深める グラフや図表から考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 他者と話し合いながら筆者の考えを深め、自分の見解をまとめる	・指導事項 音読 読解の方法 話し合いの方法 漢字テスト ・教材 実用文を読む 一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り 意見の集約	●正しく本文やグラフや図表を読み取れたか。 ●筆者の考えを正しく理解できたか。 ●他者と協力して文意を把握し、内容について理解を深められたか。 ●他者と意見を交換し、他者の考えを理解し、考えを深め、自分の見解をまとめたか。	○		○	3
	定期考査			○	○		合計 70

年間授業計画

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 国語 科目 文学国語

教科: 国語 科目: 文学国語 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1組~ 7組

教科担当者: (1組: 山内) (2組: 高木) (3組: 山内) (4組: 山内) (5組: 加藤) (6組: 高木) (7組: 高木)

使用教科書: (文学国語(大修館書店))

教科 国語 の目標:

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活における必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標 1はI部 2はII部	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1小説(三) 想像を広げる 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」について、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	・指導事項 文学国語の学習の目的 構成や表現効果に着目する 寓意的な表現の意味を考える ・教材 離さない ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文学的な文章をよむことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	4
	1小説(三) 想像を広げる 【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の構成に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	・指導事項 構成や表現効果に着目する 寓意的な表現の意味を考える ・教材 山椒魚 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	1小説(二) 語りの世界 【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わう。 ※夏季休業中課題に「こころ」全編を読む課題を課す予定	・指導事項 文体の特徴や語りの構造をとらえる 登場人物の心情や境遇を理解する ・教材 山月記(人虎伝) ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
2 学期	2小説(一) 日常への視点 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人間関係を押さえ、作品の魅力を読み味わう。	・指導事項 文体の特徴とその効果について理解を広める 作品をおして、日常的なできごとや体験の意味を振り返る ・教材 鍋セット 補足教材 桔梗くんへ ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	1 小説(四) 記憶の継承 【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人間関係を押さえ、作品の魅力を読み味わう。	・指導事項 人物関係や人物の境遇と心情を抑える 書簡体の表現について理解する 生徒が授業を実施することで、作品を多角的にとらえ、伝える力を養う ・教材 こころ ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	13
	2 随想・評論(二) 文化と伝統 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深める。	・指導事項 言語表現による自然や文化のとらえ方に着目する 日本の伝統的な価値観や変化について考え方を深める ・教材 陰翳礼讃 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	1 詩・短歌・俳句 韻文の世界 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈する。	・指導事項 詩、短歌、俳句の形式やリズムを味わう ・教材 短歌 十三首 俵万智の短歌集等 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り ※冬季休業中課題に短歌の作成を課す予定	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	1 随想・評論(三) 視点を広げる 【知識及び技能】 ・幅広い視点からの文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特質について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特質について考えを深める。	・指導事項 幅広い視点で日本の言語文化の特質をとらえる ・教材 私の日本住居論(予定) ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	4
	2 小説(四) 【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、思考力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わう。	・指導事項 時代背景や舞台設定の意味について考える 登場人物の境遇と心情の関係をとらえる 生徒が授業を実施することで、作品を多角的にとらえ、伝える力を養う ・教材 舞姫 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
合計							70

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 国語 科目 古典探究

教科： 国語 科目： 古典探究 3 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： (1組：加納) (2組：山内) (3組：高木) (4組：高木) (5組：山内) (6組：山内) (7組：加納)
 使用教科書： (精選 古典探究 大修館)

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	1部1 古文に親しむ 説話－古文への招待 1部2 ものの伝え方を読み取る 歌物語－一人を思う 【知識及び技能】 ・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・指導事項 古典探究の学習の目的 平易な文体の古文を読み慣れる 登場人物の動きや心理、話の面白さを読み取る ・教材 猿沢の池の竜の事(宇治拾遺物語) 竜(芥川龍之介) ・指導事項 歌物語の中の和歌に注目しながら、登場人物の行動や心情を読み取る ・教材 初冠(伊勢物語) ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・古文の基礎事項を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・出来事に沿って作中人物の言動を把握している。 ・「竜」と読み比べ、相違点や類似点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『伊勢物語』の歌物語としての意義を理解し、和歌から登場人物の心情をつかまようとしている。	○	○	○	10	
	1部4 見方・考え方を広げる 随筆－無常の相 2部2 先人の世界を理解する 随筆・日記－宮廷の生活 【知識及び技能】 ・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・指導事項 随筆を読んで、内容や作者の考え方について理解する 人生についての思索し、生き方について、自らの考察を深める ・教材 ゆく河の流れ～大地震(方丈記) ・指導事項 『枕草子』を読んで、宮廷生活の様子を思い浮かべる ・教材 中納言参りたまひて(枕草子) ※敬語事項の指導を含む ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・敬語のしくみを理解している。 ・『枕草子』の内容と構成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・『枕草子』の作者の考えや記述の意図を理解し、他者と共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。 ・宮中での生活について理解しようとしている。	○	○	○	10	
	定期考査				○	○		1
	1部3 漢詩の世界を味わう 漢詩－悠久の調べ 【知識及び技能】 ・他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓詁を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「自然」「旅情」「別離」「憂愁」「自適」のテーマにふれ、生命を尊び、自然を大切にすることを養う。	・指導事項 押韻・対句など、定型の漢詩の基礎を理解し、正しく音読できるようにする 情景をふまえて的確に現代語訳し、作者の人生観や心情を理解する ・教材 王維、李白、杜甫の漢詩を中心 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・漢文の訓詁のきまりを理解している。 ・漢詩の形式と作者について理解している。 【思考・判断・表現】 ・朗読によって理解を深めたり、詩についてグループで話し合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢詩に興味をもち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	○	○	○	10	
1部3 思いを読み取る 日記・物語－物語への憧れ 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・指導事項 『更級日記』を読んで、作者の物語への憧れを読み取る ・教材 あづま路の道の果て－導入 源氏の五十余巻(更級日記) 少女と物語(田辺聖子) ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り ※夏季休業中課題 文法の復習ワーク等 源氏物語調べ学習等	【知識・技能】 ・『更級日記』の内容と作者について理解している。 【思考・判断・表現】 ・作者の心情を読み取っている。 ・自分の意見を表現し、話し合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『更級日記』や作者について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。	○	○	○	10		
定期考査				○	○		1	

2 学 期	1部3 思いを読み取る 日記・物語—物語への憧れ 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 ・『源氏物語』を通して長編物語がどう始まり、展開するかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・指導事項 『源氏物語』を読んで、登場人物や物語の展開に注目しながら、壮大な長編に親しむ ・教材 桐壺 若紫 (源氏物語) 古典の英訳を読んでみる ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識及び技能】 ・『源氏物語』の内容と作者について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情を読み取っている。 ・自分の意見を表現し、話し合っている。 【主体的学習に取り組む態度】 ・『源氏物語』の特徴を踏まえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	1部2 人物像を読み取る 史話—項羽と劉邦 【知識及び技能】 ・中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・項羽と劉邦の生涯と世界史で学習したことからのつながりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな人物像をとおして、人間の生き方についての考えを深める。 ・中国の歴史書が我が国に与えた影響を踏まえ、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。	・指導事項 『史記』を読んで、歴史上の人物について理解を深める 登場人物の考え方・心情を理解するとともに、豊かな描写を鑑賞する ・教材 鴻門之会 四面楚歌 (史記) ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・『史記』の内容と作者について理解している。 【思考・判断・表現】 ・朗読によって理解を深めたり、自分の意見を表現してグループで話し合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	13
2部6 見方・考え方を深める 評論—受け継がれる言葉 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・指導事項 さまざまな評論を読んで、その論旨を読み取る 評論を読んで、個人のもの見方、考え方への理解を深める ・教材 やまと歌は (古今和歌集仮名序) 古典における評論 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・『古今和歌集』「仮名序」について理解している。 【思考・判断・表現】 ・和歌の本質・効用、和歌の起源についての考え方を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	10	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	1部4 見方・考え方を学ぶ 思想—普遍的なもの 【知識及び技能】 ・中国の思想の特徴と我が国に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・孔子の門人たちのやりとりを通して、師弟のあり方や孔子の人柄を考える。 ・孔子の生涯と世界史で学習したことからのつながりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな人物像をとおして、人間の生き方についての考えを深める。 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。	・指導事項 孔子の人生、人間、社会に対する考え方を学ぶ ・教材 論語 (孔子) 論語と算盤 (渋沢栄一) ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・孔子・孟軻の思想と、『論語』『孟子』の特色について理解している。 【思考・判断・表現】 ・孔子・孟軻の学問・人生・人間・社会に対する考え方を理解し、それらについてグループで話し合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	12
	2部7 古典に対する考え方を深める 伝承譚—神話の世界 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・指導事項 上代の人のもの見方、考え方に触れる 日本の神話とギリシャ神話を読み比べ、共通点を探る ・教材 須佐の男命の大蛇退治 (古事記) ギリシャ神話 日本神話とギリシャ神話 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・『古事記』の作品と内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・上代の文章の特徴を理解している。 ・自分の意見を表現し、話し合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

合計
105

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科： 国語 科目： 論理国語 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1組：加納）（2組：森永）（3組：加藤）（4組：森永）（5組：山内）（6組：加納）（7組：加藤）

使用教科書： （探求論理国語（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への意識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標 1はI部 2はII部	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1 評論Ⅰ つながりの中で 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヒトの「認知的共感」が社会にもたらす意義について、自分の考えをまとめる。	・指導事項 論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。また、「共感」「ともに生きる」という観点から人間の存在についての思索を深める。 ・教材 チンパンジーは「おせっかい」をしない ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいふ要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容を踏まえて「共感」という感情の意義について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
1 評論Ⅱ 言葉の可能性 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・演劇における台詞を通して、話し言葉の特徴と力を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・行動としての話し言葉という意味を捉え、自分自身の話し言葉を充実させる。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉え、ともに、異文化理解と自然との共生の困難さについて考える。 ・教材 イスラム感覚 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り ★教科書以外に、センター試験・共通テストの過去問（現代文）を解く練習をする。	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を多角的に高めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文内容の正しい理解を踏まえて、つうの台詞に込められた思いや意志についての自分の解釈を、わかりやすく丁寧にまとめようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
1 学期 1 評論Ⅲ 環境に寄り添う営み 【知識及び技能】 ・二項対立による比較対照に着目し、評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界の言語や文字に対して関心を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉え、ともに人間性について考える。 ・教材 イスラム感覚 ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・日本人と規範の関係について、多様な論点から異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め、再構成している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「ニッポン人は今、規範や律という人間が生きていくうえで不可欠な超自我的なものを失って右往左往している」という筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	10
1 評論Ⅳ テクノロジーの開く世界 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報機器の浸透によって変化した「写真」の存在意義や「写真行為」の意味について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉え、ともに人間性について考える。 ・教材 ドローン兵器とSNS ・一人1台端末の活用 等 授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいふ要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容を踏まえて、「目的を遂行するために大局的な思想をおおざりにしてしまう」ことについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	10
センター試験・共通テスト（現代文）演習を実施する。						10
定期考査			○	○		1

2 学 期	2 評論Ⅲ 芸術と向き合う 【知識及び技能】 ・評論の読み方に習熟する。【思考力、判断力、表現力等】 ・惜春について、「古今集」と正岡子規との感性の共通点を理解する。【学びに向かう力、人間性等】 ・古典和歌について関心を持ち、自分の考えを深める。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるところにも、自らの文化に対する見方を見つめ直し、芸術についての自分の考えを深める。 ・教材 「貫之は下手な歌よみ」か？ ・一人1台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容を踏まえて、古典和歌の力について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
	2 近代を見つめる 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。【思考力、判断力、表現力等】 ・「伝統」「国民性」に対する筆者の批判について、理解する。【学びに向かう力、人間性等】 ・「日本人」「日本文化」とは何か、考える。	・指導事項 近代の知識人による日本文化、娯楽、アフォリズムについての文章を読んで、筆者の考えを理解し、「今」につながる近代という時代や文化を見つめ直す。 ・教材 日本文化私観 ・一人1台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思考、判断、表現】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文内容を踏まえて、古い街並み保存と都市開発の優先について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	2 論文を読む 文学と人間 【知識及び技能】 ・論文の基本的な読み方を習得する。【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を捉え、「舞姫」における都市空間と「豊太郎」の心情の表現の関わりを理解する。【学びに向かう力、人間性等】 ・論文の内容をきっかけとして、小説「舞姫」に関心を抱く。	・指導事項 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるところにも、小説を読み解く視点を広げる。 生徒が授業を実施することで、作品を多角的にとらえ、伝える力を養う ・教材 ベルリンの「内」と「外」―「舞姫」を通じて舞姫 ・一人1台端末の活用 等 ・授業時の振り返り	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思考、判断、表現】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を正確に把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心を持ち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	15
	センター試験・共通テスト（現代文）演習を実施する。						10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	入試問題の演習（現代文）を実施する。			○	○		10
							合計
							105

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 6 年度 (第 3 学年用) 教科 国語 科目 古典演習

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 7 組 単位数: 4 単位

使用教科書: (精選 古典探究 大修館)

教科 国語 の目標: 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習 の目標: 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のもの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 随筆 (二) 枕草子 B 歌論 古今和歌集 仮名序 【知識及び技能】 ・古文を読むための知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント (読解) に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、I C T 等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・歌物語における和歌の役割についての確に捉えており、『枕草子』の特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、和歌に用いた修辭を理解した上で、読み手の心情について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『枕草子』の歌物語としての意義を理解し、和歌から登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	12
	C 日記 和泉式部日記 D 物語 大鏡(篤宿梅) E 女性論 無名草子 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント (読解) に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、I C T 等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典などを読むことを通じて、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。 ・宮中での生活について理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査				○	○	
	F 文章 桃花源記 補陀者説 【知識及び技能】 ・脚注や漢和辞典を利用して口語訳し全体の内容を把握理解できるようにする。その際句法に関する知識を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・唐宋八家の代表的な作品の、論理的で説得力に満ちた文章を正しい読解の上に味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品、作者の背景についての理解をもとにさまざまな立場におかれた人間の生き方についての考えを深める。	・句形や構文、漢文特有語。 ・脚注や傍訳を参照しながら、正確に現代語訳をする。学習の手引き (読解) に取り組む。 ・作品や作者に関連した事項を調べる。学習の手引き「活動」(読む) に取り組む。 ・教科書、文法書、便覧、プリント、I C T 等。・一人1台端末の活用。	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や作者のおかれた境遇に興味をもち、その主張を読み取るようとしている。	○	○	○	8
	G 説話 宇治拾遺物語(中古) 閑居友(中世) 雑々集(近世) H 物語 源氏物語 須磨・蓬生 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を通して平安時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント (読解) に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、I C T 等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているもの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『源氏物語』や作者について関心をもち、女流文学への理解を深めようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

2 学 期	I 物語 竹取物語／宇津保物語 (中古・伝奇) 大和物語(中古・歌) とりかへばや物語(擬古文) 平家物語(中世・軍記) 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『源氏物語』を通して平安時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・和歌の技法を理解し適切に口語訳が出来るようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語文学の多様性と共通点について考える。 ・和歌の読解を通してそこに込められた心情について考え、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『平家物語』を通じて時代背景について学び、中世という時代への理解を深める。人間の性格、人間像を捉え、人間の生き方について考えようとしている。	○	○	○	16
	J 日記 更級日記／蜻蛉日記 ／中務内侍日記 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を通して平安時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。女性の手になる仮名日記文学の特徴を理解し、その歴史的展開を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	K 評論 俊頼輔嗣／無名抄／鈴屋文集／ 戴恩記／鶯衣 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を通してその時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。 ・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	16
3 学 期	L 評論 ／毎月抄／正徹物語／風姿花伝 ／去来抄／源氏物語玉の小櫛 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を通してその時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。 それぞれの評論の特色を学び、筆者の述べる内容を理解する。 構成や展開を把握する。 筆者の考えに対し、自分なりの疑問や意見を持ち、それを表現できる。 古典の評論の中に、現代に通じる者がないか考える。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているもの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	問題演習 【知識及び技能】 ・文法事項を総合的に確認し、特に敬語法に習熟して文脈を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語展開や人間関係を把握し、それぞれの場面における登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『源氏物語』を通して平安時代の社会や生活、信仰などを学び、歴史文化に関する視野を広げ、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。	・音読、古語辞典の活用、用言及び助動詞の復習、確認 ・傍訳や脚注を参照しての内容を読み取る。学習のポイント(読解)に取り組む。 ・学習のポイント「探究」に取り組む。 ・教科書、文法書、古語辞典、便覧、プリント、ICT等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているもの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	19
定期考査			○	○		1	
合計							
140							

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 6 年度 (第 3 学年用) 教科 国語 科目 文学国語演習

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

単位数： 2 単位

使用教科書： (大修館書店 文学国語)

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文学をより深く読むために必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、効果的に伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己をさらに向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をより深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に着ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
文学を読むために 教材「神様」 【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の構成や興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	・小説を読むための視点や分析の手法を身に付け、活用する。 ・教科書、プリントあるいはノート、ICT ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のもの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○		○	14
1 学期 定期考査			○	○		
作品を評価する 教材「鎧セット」他 【知識及び技能】 ・幅広い視点からの文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者のもの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者のもの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深める。	・内容、構成、展開、描写などをとらえ、解釈および評価させる。 ・自分のもの見方、感じ方、考え方を深めさせる。 ・教科書、プリントあるいはノート、ICT ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のもの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。			○	16
定期考査			○	○		
小説を読む 「夢十夜」他 【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえて、作品の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味う。	・登場人物の心理の動きを把握し、主題について深く考える。 ・文体や表現の特徴をとらえ、他者に伝える。 ・教科書、プリントあるいはノート、ICT ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のもの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○		○	16
2 学期 定期考査			○	○		
作品創作 教材「詩・短歌・俳句」 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、学んだ文学における表現の特徴を生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・我が国の言語文化の特色に興味をもち、伝えたい主題が他者に伝わりよう工夫して作品を創作する。	・韻文や散文にて文学作品を創作する。 ・自分のもの見方、感じ方、考え方を表現させる。 ・教科書、プリントあるいはノート、ICT ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・文学的な文章を書くことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「書くこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のもの見方や考え方を他者に向けて表現することを通して、自分の関わる言語文化をより豊かにしようとしている。			○	14
定期考査			○	○		

	<p>作品創作 教材「詩・短歌・俳句」 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、学んだ文学における表現の特徴を生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・我が国の言語文化の特色に興味をもち、伝えたい主題が他者に伝わるよう工夫して作品を創作する。</p>	<p>・韻文や散文にて文学作品を創作する。 ・自分のものの見方、感じ方、考え方を表現させる。 ・教科書、プリントあるいはノート、ICT ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・文学的な文章を書くことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「書くこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のものの見方や考え方を他者に向けて表現することを通して、自分の関わる言語文化をより豊かにしようとしている。</p>		○	○	6
3 学 期	<p>問題演習 文学的文章の演習問題 【知識及び技能】 ・文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味う。</p>	<p>・登場人物の心理の動きを把握し、主題について深く考える。 ・文体や表現の特徴をとらえ、他者に伝える。 ・教科書、プリントあるいはノート、ICT ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・文学的文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。</p>	○		○	4
							合計
							70